

“柏原市の未来”を考える市民ワークショップ
in ほっとステーション

報 告 書

令和元年 11 月

柏原市 政策推進部 企画調整課

1 開催の目的

これからの柏原市を担う子どもたちを育てられている保護者の方々に、現状の柏原市における課題や良いところ、今後の柏原市が目指すべき姿などについての意見を出していただき、現在策定を進めている第5次柏原市総合計画の参考としていくために開催しました。

2 開催日時

令和元年11月8日(金) 9時30分から10時45分

3 参加者数

柏原つどいの広場「ほっとステーション」来場者10名

事前に「ほっとステーション」でのポスター掲示やチラシ配布などを行ったほか、スタッフの方々にもご協力いただき、開催日より前に「ほっとステーション」に来場された方へ声掛けを行って、参加者を募っていただきました。

4 参加者からの意見

ワークショップの中では様々なご意見をいただきましたが、この報告書では、意見の出た順番や出た意見を全て網羅せず、集約や要約を行ったものとなっています。

意見については、テーマごとに現状と改善案等を記載しています。

○公園について

- ・公園に日影(木陰)が少ないので、子どもを休憩させられず、連れて行けない。ほっとステーションにだけ来ている。
- ・高齢者の健康器具に比べて、子ども向けの遊具が少ない。子ども向けの遊具でもブランコが少なく、すべり台が多い。
- ・大きな公園が少なく、近隣市の公園に遊びに行っている。
- ・公園のトイレがなく、あっても和式が多いので、障害者用のトイレを使用している。
- ・公園で遊んでいる子どもの年代に幅があるので、危険を感じることもあり、年代別のエリア分けを行えるような公園があれば良い。
- ・今ある公園の遊具を増やして欲しい。
- ・月に1回などでも良いので、東大阪市のドリーム21や八尾市のWINGで行っているような遊具を置いた施設開放があれば良い。

(河川敷公園への意見等)

- ・川と堤防の間に柵がなく、子どもが小さいうちは危険性があるのであまり行かない。
- ・階段が多く、自転車を停めるところがない
- ・遊ぶための遊具がない。
- ・行くための道路について、ベビーカーを押しにくい。

○市立柏原病院について

- ・産婦人科が少ないため、生活状況に合わせて産科を選択できない。
- ・兄弟児がいる場合の新生児の面会に制限がある。
- ・柏原市での出産時の環境を考えた時に2人目以降の子どもを出産することを考えてしまう。

○子どもを預ける環境について

- ・病児保育が国分地区にしかないため、子どもを預ける、迎えに行く際に時間がかかるなど困ることがあるので、柏原地区にも病児保育があれば良い。
- ・地域で子どもを預かってくれるような方がいると助かる。
- ・病児を預けることについては、病院に連れて行く場合の症状等についてのマニュアル化などが無いと預ける方も預かる方も不安になる。
- ・看護師資格を持ったベビーシッターがあれば良い。また、預かる側の人の技術等に関する審査があれば安心できる。
- ・保育所についても、小学校の保健室のような部屋があって、保健の先生がいる環境があれば、少しの熱等で保護者が迎えに行く必要がなくなり助かる。

○保育所について

- ・現状の柏原市の公立保育所では、月齢によって制限があるのが困る。
生まれた月によって預けられる、預けられないが発生してしまう。それを考慮して産み月を考える場合がある。(9月以前と10月以降)
- ・子どもが2人以上の場合に年齢差によって保育所の入園が狭き門になることがあって困る。(4年超)

○居住環境について

- ・ショッピングモールなどの商業施設は充実していないが、大きなショッピングモールや大きな道路が必要とは思わない。
- ・商業施設が柏原市内にないことで、地元である柏原市でお金が消費されないことを除けば、大きな商業施設が必要だとは思わない。
- ・コンビニやベビー用品店は必要だと思う。
- ・柏原地区は自転車で様々なところに行け、生活必需品がその移動圏内で揃うため、便利である。
- ・治安が良く、繁華街を子どもたちが徘徊するようなことがないため、居住環境としては良いと思う。
- ・他市と比較してみると、子育て環境は良いと思う。
- ・柏原市は子育てに力を入れているというイメージがある。
- ・ほっとステーションのような施設は他市にはほとんどなく、子どもを遊ばせることができ、親同士のコミュニティが形成されやすいなどの良い面もあり、子育てに力を入れていると思う。
- ・土・日もほっとステーションが開いていれば良い。また、現在の月一回の土曜日解放がほっとステーションとたまてばことで別日になっているのは良い。
- ・ほっとステーションの駐車場がたまてばこのように無料又は安価であると良い。
- ・小さな子どもが安心して歩き回れるアリオ八尾のような施設がない。

- ・土砂災害や河川の氾濫については心配している。

○産業・就労について

- ・柏原で働きたいと思うので、もっと就業先が増えて欲しい。現状では、働き場所がスーパーのパート以外にない。
- ・ママスクエアの取組みについては、良い取り組みであるが、事業内容等に関する周知が不足しているので、もっとPRが必要だと思う。
- ・ママスクエアが子育て世代のママを応援しているのであれば、ほっとステーションやたまてばこへPRするチラシなどを置いたら良いと思う。

○柏原市の産業について

- ・手ぬぐいは、柏原で生まれ育った場合は、学校教育などで知ることがあるが、それ以外では知る機会がないと思う。
- ・自転車の工場があるのは知っているが、柏原のPRポイントであることは認知されていないと思う。
- ・柏原ワインは、ワイン自体があまり身近でないため、PRポイントとして認識されていないと思う。

5 まとめ

柏原市の居住環境について、現状に対する大きな不満は挙がらなかったが、子育てに関わる部分では様々な課題が上がった。

その中で、柏原市の子育て環境は総合的に良いとの評価が得られる一方で、身近な遊び場である公園の環境や保育環境の問題についての課題は数多くある状況であり、細やかな不満点の解消が求められている。

また、子育て前の出産の環境については課題が多く、これらを解消して欲しいという意見が出されていることから、出産に係る環境の改善が必要である。

そのほか、商業施設等の開発に関しては、現状以上の大型商業施設新規立地などを求められていないことや、子育て中の就労環境の改善等が求められていることが上げられる。